

2023年 夏号（7・8・9月）No.163

うんこ虫の謎

秦野ビジターセンター

野山でわりとよく出会う甲虫がいます。それは時として、動物の糞にもぞもぞと埋もれていたり、ブーンと音を立てて飛んでいたり、地面に置物のようにじっとしていたり…キラキラしているので目立ちます。その名はオオセンチコガネ。

虫のことが苦手な人でも、その姿を見てほしいと思うほど綺麗な色をしています。動物の糞を餌とする糞虫です。糞虫は、動物の糞を分解して土に還してくれる大事な役割を果たしてくれます。姿も美しいけれど、生態もとっても魅力的です。

しかし、その生態を研究した人は今までほとんどいなかったようです。そんな謎に包まれたオオセンチコガネを調べて絵本にしようという壮大なプロジェクトが、絵本作家の館野鴻さんによって、県立秦野戸川公園を舞台の一つとして繰り広げられました。そうして完成した絵本「うんこ虫を追え」の原画展を、7月15日から9月18日まで秦野ビジターセンター展示室で開催します。なぜ今まで研究する人がいなかったのか、その絵本を、そして原画展をご覧いただければ分かるかも?? 是非、見にいらしてください!

(執筆者：長澤)



オオセンチコガネ

箱根ビジターセンター、秦野ビジターセンター、西丹沢ビジターセンターのFacebookページ公開中！以下の二次元コードから最新の情報をご覧ください。



箱根ビジターセンター



秦野ビジターセンター



西丹沢ビジターセンター

自然公園へでかけよう



環境省箱根ビジターセンター

Hakone Visitor Center
〒250-0522 足柄下郡箱根町元箱根164
Tel 0460-84-9981
<http://hakonevc.sunnyday.jp/>

県立秦野ビジターセンター

Hadano Visitor Center
〒259-1304 秦野市堀山下1513
Tel 0463-87-9300
<http://www.kanagawa-park.or.jp/tanzawavc/>

県立西丹沢ビジターセンター

(旧西丹沢自然教室)
Nishi-Tanzawa Visitor Center
〒258-0201 足柄上郡山北町中川867
Tel 0465-78-3940
<http://www.kanagawa-park.or.jp/tanzawavc/>

開館日、開館時間、イベント予定等は各ビジターセンターまでお問合せください。

西丹沢ビジターセンター

滝の宝庫 西丹沢



西丹沢は丹沢地域の中でも奥深い山域で、豊かな自然が存在します。そんな自然の魅力の一つが滝です。断層が多く地形が急峻で、海に近いことから降水量が多く、流れる水で磨かれた渓谷には滝があまたに存在しています。

特に丹沢湖に流れ込む玄倉川、中川、世附川の三大支流には名瀑が多く存在しています。写真はその一例で、丹沢では滝のことを“棚”と呼ぶことが多いようです。

ほとんどの滝は原始の世界の様な渓谷の奥深くにあり道がないため、沢登りなどの経験や十分な装備が必要ですが、本棚と下棚は通常の登山装備で登山道から短時間で近づくことができます。

今年も西丹沢ビジターセンターでは西沢・滝めぐりツアーを企画しておりますので、そちらにご参加いただくこともおすすめです。暑い夏、渓谷沿いをさかのぼり、ほとばしる滝の飛沫を浴びてリフレッシュするのはいかがでしょうか。なお、滝周辺は落石や崩落が発生しやすいので、十分注意をお願いいたします。(執筆:田嶋)

箱根ビジターセンター

ヒメシヤラは箱根を代表する樹木の一つで、高さ15~20mになる落葉高木です。九州の屋久島から箱根付近までの太平洋岸の山地に分布しています。分布の北限域にあたるここ箱根では、箱根神社の裏山や芦ノ湖の周辺、小塚山周辺などでその美しい林を見ることができます。花期は7月で地面に小さなツバキのような白い花が落ちていることで開花に気づくことができます。

花も終わり、暑い夏がやってくるといよいよヒメシヤラの本領発揮です。ツルツルで剥がれやすい赤褐色の樹皮は、コルク質が薄くすぐ内側に水を吸い上げる道管が通っているため、触るとヒヤリと冷たく感じます。観察会では、この“冷たさ”を体感してもらうことにして汗びっしょりの子供達からはいつも大きな歓声が上がります。

同じ仲間のヒコサンヒメシヤラは、ヒメシヤラよりも高地の金時山、精進ヶ池周辺などで見られます。早く開花し、樹皮に不規則な横線があるのが特徴です。

箱根には自生していませんがナツツバキも同じ仲間で、ヒメシヤラ・ヒコサンヒメシヤラ・ナツツバキそれぞれの花の大きさを2・4・6(cm)と覚えると便利です。(執筆:石原)

箱根の木 ヒメシヤラ



樹皮の様子



花の様子